

## 中国電力株式会社 島根原子力発電所 2号機中央制御室空調換気系 ダクトの腐食について

平成 28 年 12 月 14 日  
原 子 力 規 制 庁

### 1. 概要について

平成 28 年 12 月 8 日、中国電力株式会社から、島根原子力発電所 2 号機中央制御室空調換気系のダクトに腐食が確認され、当該系統に要求される必要な機能を満足していないことから、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 62 条の 3 に基づく報告事象と判断した旨の報告を受けた。

本事象の概要は、別紙のとおり。

### 2. 原子力規制庁の対応について

- (1) 12 月 8 日、現地の保安検査官が現場で環境への影響等がないことを確認した。
- (2) 今後、中国電力から原因究明及び再発防止策についての報告書が提出される予定であり、提出された際に、内容の妥当性について厳格に確認する予定。

以上

## 中国電力株式会社からの報告の概要

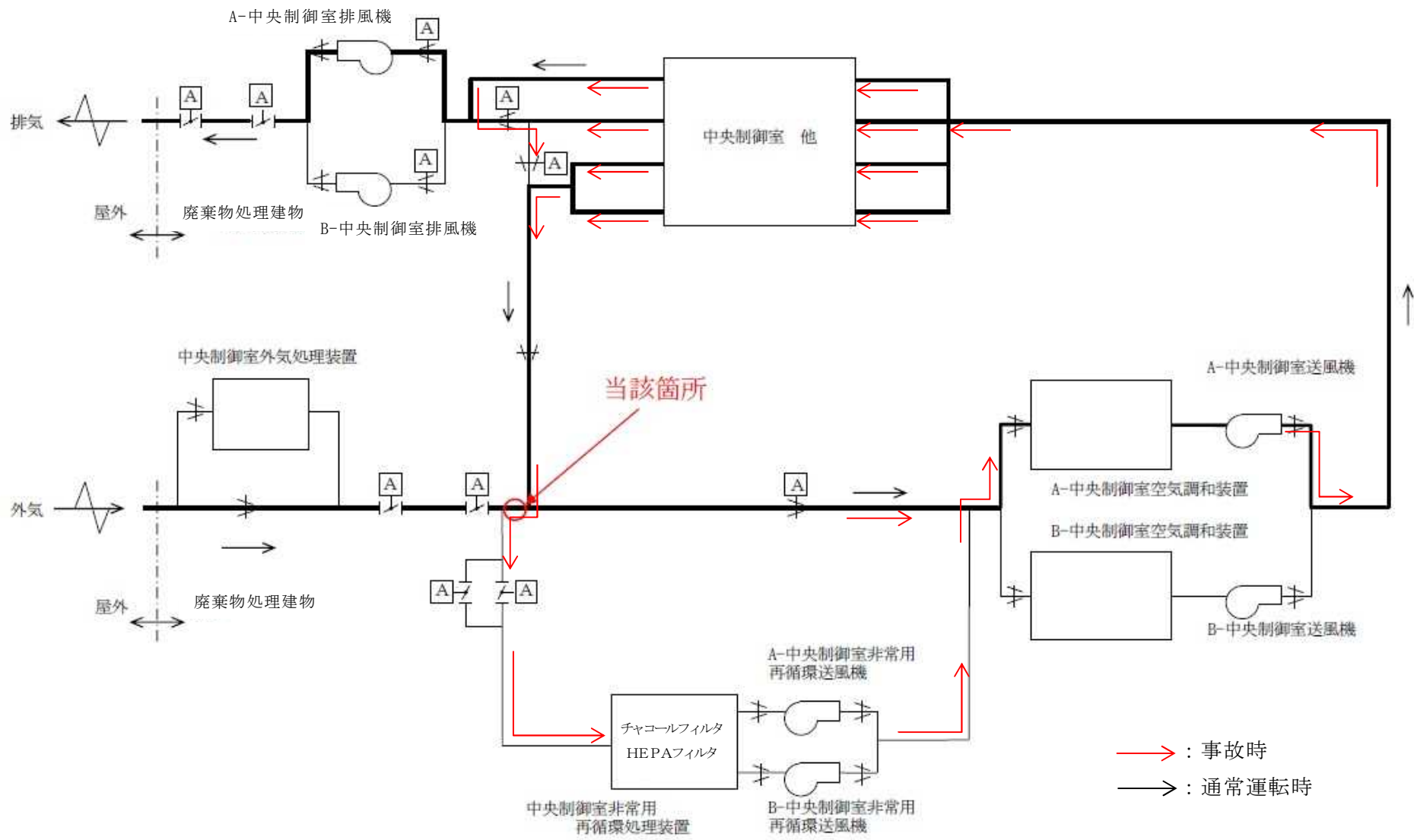
- 12月8日、中央制御室空調換気系のダクトの点検（点検のための保温材取り外し）を行っていたところ、当該ダクトに腐食孔（横約100cm、縦約30cm）があることを確認した。
- このことから、当該系統に要求される必要な機能<sup>\*</sup>を満足していないため、原子炉等規制法に基づく報告事象<sup>\*\*</sup>と判断した（12月8日18時30分）。

※必要な機能：通常は外気を取り入れて中央制御室の換気を行うが、事故発生時には事故が収束するまでの間、運転員がとどまって監視や操作が行えるように、外気を取り入れを遮断し、空気フィルタ（HEPAフィルタ、チャコールフィルタ）を介して内部循環させる機能。

※※核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第62条の3の事象

- なお、島根原子力発電所2号機は、平成24年1月27日から定期検査中のため、現在、原子炉は停止中（全燃料取り出し中）であり、本事象が発電所の安全性に影響を与えるものではない。
- 当該ダクトの保温材を取り外しての点検は1989年2月の営業運転開始以来、行われていない。
- 今後、当該ダクトが腐食した原因を調査するとともに、補修作業を実施する予定である。
- 本事象による周辺環境への放射能の影響はない。

（以上）



中央制御室空調換気系 概略系統図



腐食孔（縦約100cm×横約30cm）

（中国電力提供資料に基づき作成）